

第37回環境審議会 議事要旨

日 時：令和元年10月21日（月）10時～12時

場 所：大阪市環境局 第1・2会議室（あべのルシアス12階）

議 題：「大阪市環境基本計画」案について

出席者：（委員）上甫木会長、下田会長代行、荒木委員、市川委員、岡委員、神田委員、
玉川委員、中野（隆）委員、西委員、西岡委員、藤田委員、松田委員、
水藻委員、和田委員

（事務局等）青野環境局長、高橋理事兼エネルギー政策室長、井原環境施策部長、
岡本環境施策課長 他

配付資料：次第

資料1 「大阪市環境基本計画の改定について（報告）」

別添1 「環境基本計画策定部会審議経過」

別添2 大阪市環境基本計画（部会案）

別添3 大阪市環境基本計画（部会案）資料編

別添4 大阪市環境基本計画（部会案）の概要

参考資料1 第36回環境審議会議事要旨

参考資料2 第3回環境基本計画策定部会議事要旨

参考資料3 環境審議会及び環境基本計画策定部会意見要旨

参考資料4 第36回審議会での意見要旨と意見を踏まえた対応

参考資料5 「大阪市環境基本計画（素案）」に対するパブリック・コメントに
寄せられた意見の要旨と対応等

参考資料6 第3回環境審議会計画策定部会での意見要旨と対応

【事務局説明】

・資料1により、大阪市環境基本計画 案について説明

【委員意見】

- 温室効果ガス排出量について、2030年30%削減としているが、現状では達成が難しいように思われる。さらなる取組みにより削減が必要であるので、より強い表現とすべき。
- みどりの量について、着実に増加しているとあるのは誤りではないか。確認の上、表現を改められたい。
- ヒートアイランドに関連し、近年減少傾向にあるというのは、図表から読み取れず適当ではないのではないかと。
- 生物多様性について、目次に現れるレベルで取り上げるべき

- みどりについては、講演だけが都市の保全すべきみどりではないことに留意されたい。
- 生物多様性については、陸域だけではなく海域も重要であり、大阪湾の自然再生などについてもふれるべき。
- 環境対策は、配慮事項ではなくビジネスチャンスであるというニュアンスを盛り込むべき。
- 大阪市の環境の現状に対する理解を深めてもらうためにも、多くの人の読んでもらえるようお願いしたい。
- SDGsを使った環境施策を早期に実施して、その効果を環境審議会で報告願いたい。

審議会の運営に関すること

- 環境審議会の運営に関して、ペーパーレスで実施すべき。